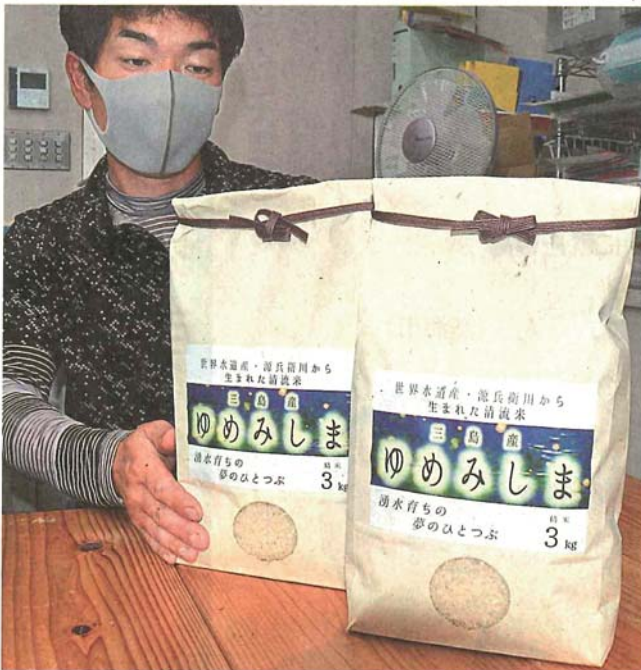


令和3年(2021年)6月4日(金曜日)

清流で育む三島ブランド

「ゆめみしま」新銘柄米に



新銘柄米の認定を受けたゆめみしま＝三島市

三島市を流れる源兵衛川の清流で育てる新品種米「ゆめみしま」が、農林水産省の産地品種銘柄として市内で初めて認定された。三島産のブランド米づくりに取り組むNPO法人グラウンドワーク三島が生産し、10月の収穫後に販売を始める。5日には、同市長伏の田んぼで田植え体験を開催する。

あす 田植え体験会

ゆめみしまは粒が大きく、滑らかな口当たりが特長。GW三島は3年前から、環境保護活動で関わりの深い日本たばこ産業（JT）の植物イノベーションセンター（磐田市）が開発した4品種を育てて試食を繰り返して、そのうち「いわた12号」をブランド米として採用した。ゆめみしまの名称は全国から公募して決定し、昨年に新銘柄米として農水省に申請していた。

富士山からの地下水が流れる源兵衛川の水を使い、中郷地区の田んぼで育てる。初年度の収穫量は3トを見込み、市内外で販売を始める予定。5日の田植え体験会は一般の親子らも参加できる。GW三島は「米を通じて三島の水のすばらしさを発信したい」という。

田植え体験会は午後1時から、参加費は1組千円。問い合わせ、申し込みはGW三島へ電話055(9)33(0)136へ。

(三島支局・金野真仁)